

2014年度 支援プロジェクト選考・審査対象団体一覧

NO	プロジェクト名 (※印は名称変更)	実施団体 (※印は名称変更)	プロジェクトリーダー	プロジェクトの概要	関係課
<新規選考>					
1	※ エシエル échelleプロジェクト	※ エシエル échelle	吉谷 愛	子育て中のママが将来のライフビジョンを客観的に描けるように、社会との接点を持つきっかけ作りとなる体験型教育支援プログラム（インターンシップや社会科見学に類似）を展開し、ママ自身の好奇心を満たす場を提供する。自分軸を持ち、子育てや仕事を楽しみつつ自分自身として輝くママを増やすため、就業機会の獲得をはじめとした社会との接点を持つ機会をつくり、ママの視野を広げることで子供にとってよりよい未来を作る新しい子育て支援を作りたい。	男女協働子ども家庭支援センター担当課
2	※ 地域コミュニティ情報共有の仕組み創りプロジェクト	TEAM空	船戸 保志	新規でプロジェクトを立ち上げても、十分に周知することが出来ない。既存のさまざまなコミュニティや仕組みが存在するが、その活動内容が十分に受任者（受けたい方、参加したい方）に伝わっていない。一方、地域の商店や個人経営などの企業は、その存在や価値を十分に地域の人々に伝えるノウハウやリソースを保有していない。これらの地域のみなさんを結び付けて、みなさんで情報共有して地域を活性化できる仕組みを作る。	区民課 経済課
3	地域版フューチャーセンター&心地よく暮らし、はたらく Loco-working拠点 ココチ 「文京版cococi」立ち上げ プロジェクト (cococi2000)	株式会社Polaris	山本 弥和	文京区は共働き家庭が多く、子育てをきっかけにした地域とのつながりが希薄な状況であり、地域の子育て世帯も私学への進学を選択するケースも多く、同様に地域との接点が少ない状況である。仕事をきっかけに地域につながるを産み出す“シゴト軸のコミュニティ”cococi”を立ち上げることで、文京に暮らし、働く女性たちの地域とのつながりの希薄化を解決する。また、地域の事業者と連携し、地域人材とともに新しい価値を生み出し、地域経済の活性化も目指す。さらに、評価モデルの構築もあわせて実行し、“cococi”が産み出す社会的価値の測定を可能とする。	男女協働子ども家庭支援センター担当課 経済課
<終了審査>					
1	ハッピーファミリープロジェクト	子育てkitchen	田中 由美子	主に乳幼児のお母さんが抱えている育児ストレスを、区と連携しながら原因を究明し、「遠くの親戚より近くの他人」の視点や、「子育てを経験したからこそそのやり方」を伝えることで、子育てを楽にしていける方法を探る。その中で「共働」はとても大切であり、料理や掃除などで、子供の巻き込み方を始め、時短の簡単なやり方をWSや本、講演で提案し、お母さんのストレスを軽減していく。また、継続的な展開に向けて、サポートスタッフや主催者の育成を行い、事業として収益をあげる仕組みを作る。	男女協働・子ども家庭支援センター担当課

(注) 掲載は、プレゼンテーション順。